

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 9 日 (2020.4.9)

【公開番号】特開 2019-120933 (P2019-120933A)

【公開日】令和 1 年 7 月 22 日 (2019.7.22)

【年通号数】公開・登録公報 2019-029

【出願番号】特願 2018-231034 (P2018-231034)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/11 (2006.01)

C 0 8 F 220/24 (2006.01)

C 0 8 F 220/06 (2006.01)

C 0 8 L 33/16 (2006.01)

H 0 1 L 21/027 (2006.01)

G 0 3 F 7/20 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 F 7/11 5 0 1

G 0 3 F 7/11 5 0 2

C 0 8 F 220/24

C 0 8 F 220/06

C 0 8 L 33/16

H 0 1 L 21/30 5 6 5

G 0 3 F 7/20 5 2 1

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 25 日 (2020.2.25)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1】

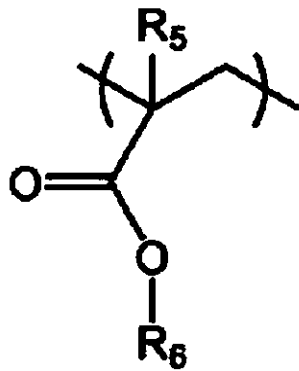
フォトレジストトップコート組成物であって、

水性塩基可溶性であり、前記組成物の全固形分に基づいて、70～99重量%の量で存在する第 1 のポリマーと、

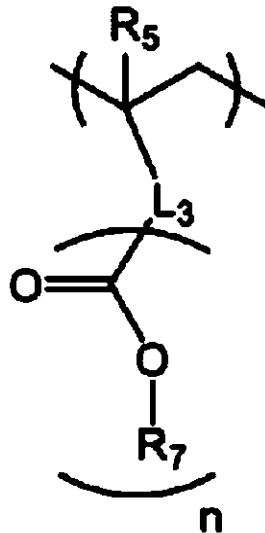
一般式 (I V) の繰り返し単位および一般式 (V) の繰り返し単位を含む第 2 のポリマーと、

溶媒と、を含み、

【化 1】



(IV)



(V)

式中、 R_5 は独立して、H、ハロゲン原子、C 1 - C 3 アルキル、または C 1 - C 3 ハロアルキルを表し、 R_6 は、直鎖、分岐、または環状の C 1 - C 20 フルオロアルキルを表し、 R_7 は、直鎖、分岐、または環状の C 1 - C 20 フルオロアルキルを表し、 L_3 は、多価連結基を表し、 m は、1 ~ 5 の整数であり、前記第 2 のポリマーは、非フッ素化側鎖を含まず、前記第 2 のポリマーは、前記組成物の全固形分に基づいて、1 ~ 30 重量%の量で存在する、フォトレジストトップコート組成物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0008

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0008】

本発明の第 1 の態様に従って、フォトレジストトップコート組成物が提供される。組成物は、水性塩基可溶性であり、組成物の全固形分に基づいて、70 ~ 99 重量%の量で存在する第 1 のポリマーと、一般式 (IV) の繰り返し単位および一般式 (V) の繰り返し単位を含む第 2 のポリマーと、溶媒と、を含み、

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0010

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0010】

式中、 R_5 は独立して、H、ハロゲン原子、C 1 - C 3 アルキル、または C 1 - C 3 ハロアルキルを表し、 R_6 は、直鎖、分岐、または環状の C 1 - C 20 フルオロアルキルを表し、 R_7 は、直鎖状、分岐状、または環状の C 1 - C 20 フルオロアルキルを表し、 L_3 は、多価連結基を表し、 m は、1 ~ 5 の整数であり、第 2 のポリマーは、非フッ素化側鎖を含まず、第 2 のポリマーは、組成物の全固形分に基づいて、1 ~ 30 重量%の量で存在する。